

大腸ポリープ切除術を受けられる患者様へ(2泊3日)

患者様用

患者氏名 @[Patient.Name] 様

担当医師() 担当看護師()

経過	入院前	入院日(治療前日)	治療当日(治療前)	治療当日(治療中)	治療当日(治療後)	治療後1日目(退院日)
達成目標		前処置の内容と注意事項が理解できる	治療準備が整う	合併症(出血・穿孔)がない	消化器症状(腹痛・血便)や腹部膨満がない 鎮静から覚醒して動くことができる	消化器症状(腹痛・血便)や腹部膨満がない 退院後の生活について理解できる
治療処置 薬剤 リハビリ	今まで飲んでいたお薬があれば主治医の指示で続行か中止か決まります。 (抗血栓剤を内服されている場合は中止する場合がありますので、医師の指示に従ってください) ●抗血栓剤中止● 月 日から	手術の同意書の確認を行います。 内服薬の確認を行います。 前処置や治療の流れについて説明をします。 21時に下剤①をコップ1杯以上の水で飲んで頂きます。 就寝前にコップ1杯以上の水を飲んで頂きます	7時から2時間かけて下剤②を2リットル飲んで頂きます。 *飲み方* 最初は15分間でコップ1杯をゆっくり飲みます。 飲み始めて腹痛が出現したり、気分が悪くなった場合は看護師にお知らせください。気分が悪くなければ、目安はコップ1杯(約180ml)ずつ2時間以上かけて飲んで下さい。 いつも内服されている薬(中止分を除く)は下剤を全部飲み終えた後に飲んで下さい。 11時頃より 右手から点滴を始めます。	治療は原則として午後からになります。 便の状態を確認後に呼び出しがあります。 内視鏡室より連絡がありましたら、看護師と一緒に車椅子で内視鏡室に行きます。	帰室後から安静解除後まで酸素吸入と心電図モニターを付けさせていただきます。 点滴は翌日までありますので、看護師が点滴の交換を行います。	腹痛や出血がなければ、朝10時で点滴終了となります。 食事摂取後、腹痛や血便がなければ退院となります。 ※治療の状況で入院期間が延長となる場合もあります。 追加の検査がある場合は説明を行います。
検査		採血・レントゲン・心電図があります。				
活動 安静度		制限はありません。	病室でお過ごしください。 呼び出しがありましたら車いすで内視鏡室へお連れします。 ※金属類や湿布、メガネなどは外してください。		基本は2時間ベッド上安静です。安静解除の時間は看護師より説明があります。時間になりましたら看護師が覚醒状態・歩行状態を確認します。その後は病室でお過ごしください。	原則として制限はありません。
栄養		病院食を摂取します。 ※夜9時以降は絶食となります。	終日絶食になります。 (水・お茶・透明で刺激のないスポーツ飲料は摂取できます)		安静解除後に飲水はできます。※翌朝まで異常がなければ朝から食事開始予定です	腹痛や血便がなければ朝から食事が開始となります。
清潔		制限はありません。			安静解除後に清拭ができます	シャワー浴ができます。
排泄			下剤②内服後からの便の性状を確認下さい。 別紙の排便チェック表に記入をお願いします。		安静時間中の排泄は看護師が介助を行いますので、ナースコールでお知らせください。 便の性状を看護師が確認しますので、排便があった場合は流さずお知らせ下さい。	
教育・指導・説明	看護師より手術の流れについての説明があります。 手術の同意書の確認があります。				お腹に力を入れたり、排泄の際に力む動作や階段昇降、ジョギングなども控えてください。 退院後の生活について 術後10日前後までは便の性状に注意してください。 ①消化の悪いものや刺激物の摂取 ②激しい運動 ③飲酒 以上の項目はお控えください。 中止していた薬剤があれば医師の指示に従って再開してください。	